

製品名: PSAP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82470**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	58.1kDa

抗原情報

遺伝子名	PSAP
別名	GLBA; SAP1; SAP2
遺伝子 ID	5660.0
SwissProt ID	P07602
免疫原	大腸菌で発現したヒト PSAP (AA: 17-216) の精製された組み換え断片。

背景

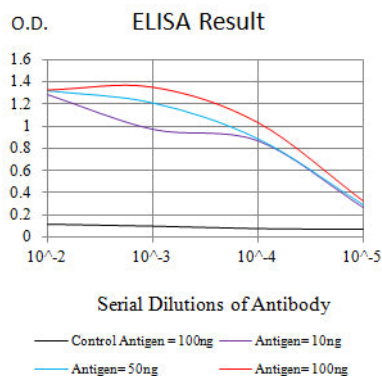
この遺伝子は、高度に保存されたプレプロタンパク質をコードしており、タンパク質分解によってサポシン A、B、C、D を含む4つの主要な分解産物が生成されます。前駆体タンパク質の各ドメインは約 80 アミノ酸残基の長さで、システイン残基とグリコシル化部

位の配置はほぼ同じです。サボシン A~D は主にリソソーム区画に局在し、短いオリゴ糖群を持つスフィンゴ糖脂質の異化を促進します。前駆体タンパク質は分泌タンパク質としても膜貫通タンパク質としても存在し、神経栄養活性を有します。この遺伝子の変異は、ゴーシェ病および異染性白質ジストロフィーと関連付けられています。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはタンパク質分解によって処理されるアイソフォームをコードします。

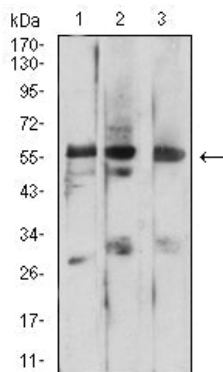
研究分野

-

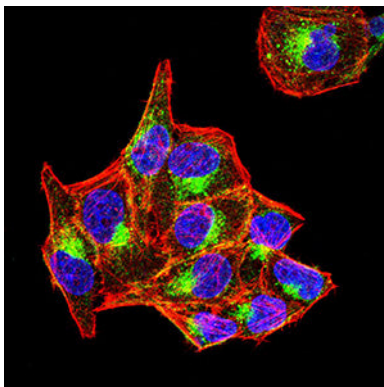
画像データ



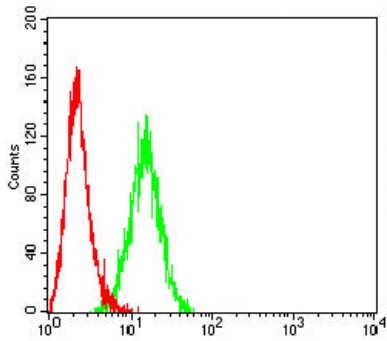
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



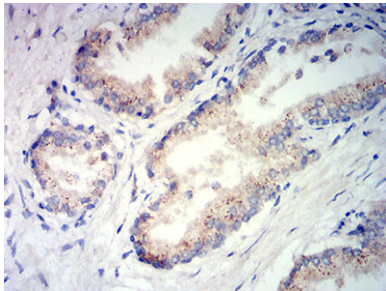
HEK293 (1)、C6 (2)、および HT1080 (3) 細胞溶解物に対する PSAP マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



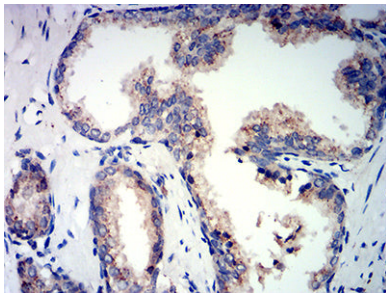
PSAP マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PSAP マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による PSAP マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による PSAP マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。